

施政方針 概要

3月定例議会で述べた施政方針の概要をお知らせします。

昨年の町長選挙におきましては、無投票当選という結果を受け、引き続き

4期13年目の町政を担わせていただくことになりました。所信表明でも申し上げ

ましたが、新型コロナウイルス感染症禍以降の観光や暮らしの変化に対応した持続可能なまちづくりを進め、

湯沢町総合計画に掲げる町の目指す将来像「君と一緒に暮らす町」を念頭に、

誠心誠意取り組んでまいります。「湯沢町総合計画・後期基本計画」は、令和

7年度に最終年度を迎える前期計画の評価と現在の社会情勢を勘案して策定

した、今後5年間の町政における最上位計画です。この計画を軸に、第3期

総合戦略等の個別計画と整合を図りながら、各分野の施策を着実に推進して

まいります。

現在の大きな課題である人口減少については、自然減が常態化しているう

え、転出超過による社会減へと転じたことから、令和7年10月末の人口は7,

719人まで減少しました。この対策として、第3期総合戦略に定める産業

振興や移住・定住支援、子育て支援を具体化し、「若者が生活の場」として選択



湯沢町長 田村正幸

するまち」の実現を目指しま

す。一方、冬期間の労働力として欠かせない存在となっている外国人の住

民登録者数は過去最多の1,002人（令和8年1月末）に達しており、多文

化共生の環境づくりや受入れ態勢の整備にも注力してまいります。

観光施策については、インバウンドの増加を背景に客足が大きく回復して

おり、今シーズンも引き続き好調に推移しています。「湯沢町観光振興計画」

に基づいて、（一社）湯沢町観光まちづ

くり機構を中心に町と各事業者が連携して観光客が安全・快適に滞在できる

よう、多言語対応や二次交通、外食環境の充実を図るとともに、MICE誘

致やフジロックフェスティバルへの支援、ゴールデンサイクルルートの推進

等を通じてグリーンシーズンの活性化も図ります。これらの施策を安定的・

持続的に進めるための恒久的な財源として、「宿泊税」の導入に向けた制度設

計を関係者との協議のもと進めてまいります。

教育・福祉分野では、「こどもまんなか社会」の実現を目指し、令和7年度

に設置した「こども家庭センター」を核として妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を構築します。11

年目を迎える湯沢学園での保小中一貫教育においては、地域の特色を生かした教育を推進し、次代を担う子ども

たちの個性と郷土愛を育みます。また、高齢化率が40%前後で推移するなか、

介護予防や認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進め、持続可能な

福祉体制の構築に努めます。

公共インフラと財政運営については、南魚沼市と連携した新ごみ処理施設整備を令和13年の供用開始に向けて着実に進めます。厳しい財政状況を鑑み、財

政運営指針」等に基づき、共同浴場の料金改定や湯沢高原ロープウェイ施設の民間譲渡に向けた調整など、収益性の改善と財政健全化を実行してまいります。町民の皆さまのご支援を賜りま

すようお願い申し上げます。

令和8年度一般会計予算総額

92億900万円

令和8年度の一般会計予算総額は92億900万円となり、令和7年度比較で1億2,000万円、1.3%の減となっております。

歳入では、令和7年度と比べて、寄附金がかかるさと納税分で1億円の増、繰入金で湯沢こころのふるさと基金および新設する湯沢高原ロープウェイ施設改修基金からの繰り入れなどで2億4,406万円の増、一方、町債は舗装改修事業等に係る緊急自然災害防止対策事業債が大幅に減少したことなどにより4億5,180万円の減となっております。歳出では、前述の湯沢高原ロープウェイ施設改修基金への積立金、湯沢駐車場の利用改善に向けた事業費などを新たに計上するとともに、南魚沼市への消防関連の委託料や不採算地区病院運営に係る病院事業会計への補助金が増額となっております。

施政方針の全文はこちらから



町ウェブサイト「施政方針」